



京都

上七軒

Kyoto Kamishichiken

歴史と文化をつむぎ、
伝統が息づくまち



京都市





上七軒通り

Kamishichiken Street

今出川通上七軒交差点から北野天満宮への東参道。
京都最古の花街でもある上七軒、道沿いにはお茶屋が続きます。

上七軒に空がみえる、
電線のないスッキリした景観が誕生。

左写真…以前の上七軒通 右写真…景観整備され、すっきりした景観



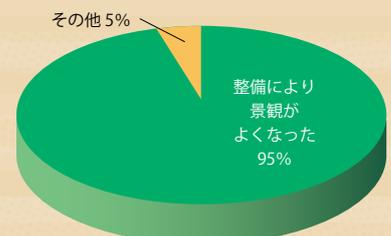
上七軒通は、北野天満宮、千本釈迦堂とそれらの門前町として形成された京都の中では最も歴史の長い茶屋町で、門前町の賑わいと芸能文化の発展に寄与し、優雅で落ち着いたあるまち並みが形成され、上京北野(かみのきょうきたの)界わい景観整備地区にも指定されています。

上七軒通の周辺は、西陣織物業の集中する歴史の深い市街地で、その関連業も含む同業者町を形成され、職・住が共存した趣のあるまち並みになっています。

また、上七軒通、七本松通、五辻通など、通りごとに町の機能や性格、そして景観についても地域の固有性を発揮しています。

京都市が地元検討委員会と議論しながら検討を進めてまいりました。電線類地中化、石畳風アスファルト舗装、LEDデザイン照明灯設置などの景観整備事業が平成25年(2013年)3月に完成し、電柱・電線のない歩きやすく、見て楽しいまち並みになりました。すっきりとした景観は、行政と市民との協働による、まちづくりの成果です。

まちづくり成果へのご意見



上図…上七軒通の整備後、地元の方々へのアンケート結果

新しさと、古きよき伝統と 文化の継承



① Kaburenjo

▲上七軒歌舞練場

上七軒歌舞練場

古式を守る芸妓や舞妓さんたちが出入りし、まち並みが華やかになる。歌舞練場は、木造二階建ての格式ある建物で、平成21年(2009年)に

京都市歴史的風致形成建造物に認定された。春の北野をどり、秋の寿会、また、夏は庭でビアガーデンも開催され名物となっている。

現存する京都最古の花街

上七軒

Kyoto Kamishichiken

上七軒は、文安元年(1444年)に北野社殿の一部が焼失し、修復の残材を用いて茶店を七軒建てられたことに始まります。天正15年(1587年)豊臣秀吉が北野大茶会を催した折、休憩所となった茶屋で御手洗団子を献上したところ太閤にいたく気に入られ茶屋の特権が与えられたのが原点となり門前町として発展してきました。

提灯に灯りが入り格子越しの光は、道路に趣を輝かせ、一段と風情を醸し出される夜景は思わずため息がでます。

▼千本釈迦堂



② Kitano Tenmangu

▲北野天満宮

北野天満宮

「北野の天神さん」と親しまれている学問の神様・菅原道真公をお祀りする神社。春は梅、秋は紅葉と道真公ゆかりの樹木が境内を彩る。

道真公は6月25日に御誕生、2月25日の薨去により毎月25日は縁日。「牛」は天神様の神使で、境内には臥牛の像が多数ある。



Column

おかめ塚

～ある女性の悲話～

本堂の造営の際、棟梁である高次が、かけ替えのない柱の寸法を切り誤り、悩んでいるのをみかけて、「斗(ます)ぐみ」を施して高さを調節することを提案したのが「おかめ」。

自分が提案したと世間が知れば夫の評判に傷がつくと思い、上棟式の前に自害した。今は「おかめ招福」で幸福・子授け・夫婦円満など功德、また工事の安全祈願としても信仰がある。

③ Daibouonji

千本釈迦堂 大報恩寺

承久二年(1220年)開創。応仁、文明の乱にも奇跡的に焼失を免れた本堂(1227年建立)が残る。御本尊は釈迦如来坐像(重要文化財)。霊宝館には快慶作の十大弟子立像、定慶作の六観音菩薩像など二十体以上の重要文化財の諸仏が整然と並んで安置されている。

静かで美しいまち

上七軒の歳時記

いまも息づく昔ながらの伝統を味わう。
歴史や伝説を巡るのも楽しみのひとつです。



ずいき祭



梅花祭野点

梅花祭 2/25

この日は北野天満宮の御祭神、菅原道真公の命日。道真公が梅を愛でたことから、境内には約50種1500本の梅がある。上七軒総出(芸妓、舞妓、女将)の奉仕による野点茶会も行われ、梅の咲き誇る境内は華やかな雰囲気包まれる。

北野をどり 3/25~4/7

北野天満宮の千五十年大萬燈祭の際に、芸を奉納したことに始まる。会場は北野天満宮1000年祭の明治35年に建設された歌舞練場。演劇的な要素を多分に持ついわゆる舞踊劇を特徴としてきたが、近年は舞踊劇以外の新たな試みも見られ、ますます目が離せない。



ビアガーデン 7/1~9/5 頃

上七軒歌舞練場の庭園において夏の行事として行われ、おそろいの浴衣姿の芸妓、舞妓が毎日おもてなしをする。昭和32年(1957年)からはじまり、都会の喧噪から離れた静かな上七軒歌舞練場の日本庭園にぶらりと立ち寄るのも一興。

ずいき祭 10/1~5

北野天満宮の秋の大祭。平安後期から記録にある古い祭礼で、五穀豊穡を感謝して行われる。野菜で飾られたずいき御輿や鳳輦(ほうれん)の行列が上七軒の街を通り、氏子である芸妓、舞妓はお茶屋の玄関先に出てきて行列を出迎える。

寿会 10月上旬頃

5日間行われる秋の舞の発表会。古典ものの踊りが中心で、春の「北野をどり」と趣を変えている。

北野献茶祭 12/1

献茶祭は天正15年(1587年)に豊臣秀吉が催した「北野大茶湯」にちなんで行われている大茶会で、神事は北野天満宮御本殿にて行われている。当日は上七軒歌舞練場にも副席が設けられ、色紋付きの芸妓、舞妓が立礼でお茶を点て、接客する。



Access

■ JR「京都駅」から

市バス50系統(北野天満宮・立命館大学前ゆき)、

101系統(北野天満宮・金閣寺・北大路バスターミナルゆき)で約27分

■ 地下鉄烏丸線「今出川駅」から

市バス203系統(北野天満宮・西大路四条ゆき)で約9分(反時計回り)

■ 阪急「四条烏丸駅」から

市バス55系統(北野天満宮・立命館大学前ゆき)で約23分(時計回り)

それぞれ「北野天満宮前」もしくは「上七軒」停留所で下車、徒歩3分



京都市建設局 道路建設部 道路環境整備課

Tel/075-222-3570 Fax/075-213-0193

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

平成25年11月発行 京都市印刷物 第253162号